

# 舵取り繁盛記



株式会社東伸サービス（尾張北支部）  
取締役社長 中野 弘氏夫人

## 中野 正子 さん

廃棄物を無害安定化させ、衝撃に強く耐久性の高いハーマシールブロックに仕上げるハーマシール工法だけは、まがいものが作られてはいけないと、初めて特許を取りましたが、それ以外は、みなさんに使ってもらえばいいと特許も取らずにオープンにしてきました。私は、そんな夫を素晴らしい人だと思っています。

もともと夫は県の畜産課に勤めていて、結婚する時は公務員だから堅実だと安心していましたが、長女が生まれたとたん退職してしまった時には、啞然としました。なにしろ何の相談もなく、突然の事後報告でしたから。この業界に入る直接のきっかけとなったのは、ガソリンスタンドで分離層の処理をスコップを使っての手作業でしているのを見て、もっと良い方法はないかと、バキュームダンパーを開発したことです。当時はまだ、廃棄物に対する法律も皆さんの意識もない時でしたから、働いていた従業員も、くやしい思いをしたことがあったようです。それでもみんな、夫を信じてついてきてくれて、従業員には本当に感謝しています。

「二人三脚というよりは、私は主人に言われるままについてきただけ」と控えめながら、突然、何の前ぶれもなく退職し新しい方向を目指したご主人を信じて、今日までついてきた正子さん。「家庭では男らしく何もしない人ですが、仕事においては、素晴らしい人です。」と手放しでほめる正子夫人に、ご主人について語っていただきました。

### 【夫は信念を持った素晴らしい人】

夫は開発が好きで、バキュームダンパーの開発を始め、いろいろな研究開発に努めています。



昭和41年に試作車を1台作るのに、家1軒が建つくらいのお金がかかって、頭が変じゃないかと言われたりもしました。でも夫は当時から「環境問

# 舵取り繁盛記



題は人の命にかかわることだ。決して二次公害を出してはいけない。」という信念を持っていて、その信念を守ってすすんできました。今になって、そういうことが求められる時代になり、夫の考えは正しいと認められてきましたが、10年も先を見ていた当時は、なかなか理解されなくて苦労しました。

## 【夫の夢が私の夢です】

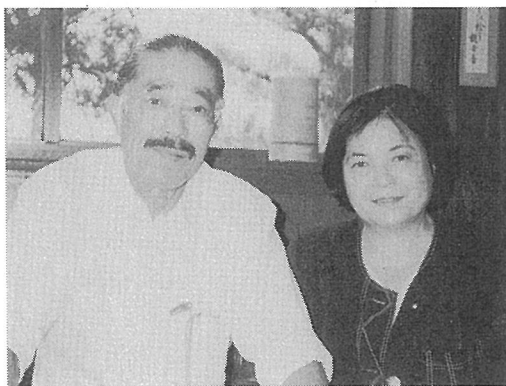
夫は自分がワクにはめられるのが嫌いなので、人に対しても束縛することはありませんが、でも結果的には夫の思い通りになっていることが多いようです。子供には、「お前の人生なんだから好きにすればいい。」と言って、無理強いはしませんでした。長男は大学で化学を専攻し、今は常務をしてくれています。これも息子が父親を尊敬しているからこそその決断だと思うと嬉しいですね。



私は特に趣味といえることはありませんが、研究ばかりに没頭している夫に代わって、地域のことに関わることが多いです。特に私は、ここの地元人間ですし、地域の皆さんに助けられてここまでやってこれたと思うので、その恩返しのつもりで、地域のいろいろな活動のお手伝いもしています。この他に今、一番力を入れているのは北京語。流暢な韻律の漢詩には、とても興味があります。なかなか若い時のようには覚えられませんが、現地で会話ができるように、頑張りたいと思っています。

夫の夢は、この業界のことをもっと大切なことと認識して勉強する人を育成する機関を作ること。そんな主人の夢が私の夢でもあります。

結婚して丸37年になりますが、これからも夫のあとをしっかりついて行きたいと思っています。



## 《ご主人から奥様に一言》

家内には、うちのことも会社のことも、経理関係は任せきりですが、本当に良くやってくれています。廃棄物の業界も難しくなってきているので、私としては世の中の流れをつかまなければならない。平成14年の法規制ダイオキシン対策など、今までにない大きな課題をかかえて、今が一番大変な時。将来はのんびりしたいなどと先のことを考えている余裕はないので、とにかく今、がんばりどころです。互いがんばっていきましょうというしかありませんね。